

東京都社会人サッカー連盟 1部リーグ

東京都1部リーグにおいて、各クラブのリスペクト活動を共有・推奨する取り組みを継続。自チームの「ちょっとした工夫」を共有するために、専用フォームを設けるほか、ライバルクラブの優れた行動を称え合う取り組みを進めている。

取り組み内容

実施場所：会議等打ち合わせの場所で

取組内容：

「東京都1部リーグでリスペクトのためにできること」を探しました。継続中。

“リスペクト”の種を集めよう

👍 自チームの「ちょっとした工夫」を共有

各クラブが日頃、暗黙の了解や当たり前として行っている優れた習慣を、共有する。

- ・試合後のロッカールーム・ベンチ周辺の徹底清掃
- ・対戦相手、審判員に対する 試合前後のリスペクトの言葉かけ
- ・クラブ全体で行う地域クリーン活動

👏 他薦によるリーグ全体の高め合い

ライバルクラブの素晴らしい行いを積極的に推薦し合う。

- ・相手チームにされて嬉しかったこと
- ・相手チームが見せた、負傷選手に対する紳士的対応
- ・サポーター同士、あるいは選手とファンの心地よい交流
- ・推薦を通してリーグ内の連帯感と相互敬意を強固にする

テーマ①：審判員とのコミュニケーション

判定へのアプローチとマナーの共通ルールづくり

課題：熱さの中での異議・威圧的言動の発生

昇格や降格が絡む激しい社会人1部リーグでは、一瞬の判定で感情のコントロールを失うリスクがあります。

論点：どのようなピッチ上コミュニケーションが望ましいか

- 審判とのスムーズな会話を担保するため、クラブとして以下のルールを徹底すべきか議論します。
- ・確認権を主権に限定する
- ・審判のアナウンスを遮らない

ゴール：競技中の関係性向上と信頼構築

「リスペクトの握手」や、お互いに感謝を伝える試合後の対話を恒例化します

テーマ②：差別や暴言のないピッチ環境

「安心・安全なサッカー」をクラブ主導で体現する

課題：ピッチ内外のハラスメントとセーフガーディング

無意識の暴力的な言動、相手ベンチからのヤジ、SNSを通じた誹謗中傷などに対する警戒が必要です。

論点：チームの「自浄作用」をどのように構築するか

- ・本部の役割を明確にする
- ・ピッチ内で仲間同士が過剰に非難しあうのを避けるには。
- ・ベンチでの過度な野次、指導、指示を抑制する
- ・各チームへの「ウェルフェアオフィサー」の積極的な導入

ゴール：すべての人がサッカーを楽しめる環境

東京社会人サッカー1部が誇るべき「グリーンで高度な」競技環境